



## 血小板数コメント報告を開始しました！

2024年11月18日(月)より血小板数コメント報告を開始しました。  
血小板数偽低値の要因として、採血状況による検体凝固やフィブリン析出、EDTA採血管使用によるEDTA依存性偽性血小板減少症(EDP)※があります。

採血時に採血管に組織液などが流入するとフィブリンが析出し、血小板が絡みつくことで偽低値を示すことがあります。

報告コメント

**フィブリン  
参考値**

フィブリンの析出



フィブリン析出の程度によって採り直しの依頼をすることがあります

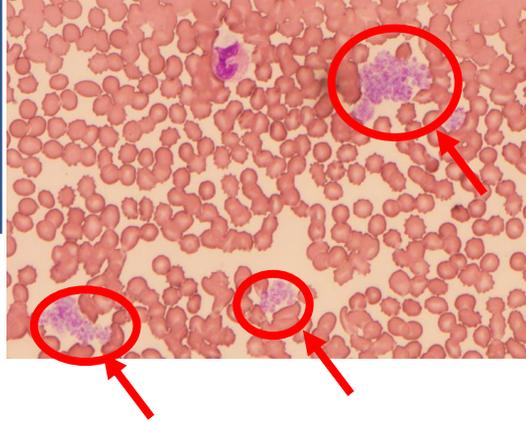
抗凝固剤であるEDTAによって血小板凝集が生じることで、血小板が偽低値となります。

当院は、カナマイシンを添加し、血小板凝集を乖離後に報告しています。

報告コメント

**EDP疑  
乖離済  
(完全に乖離できない時は参考値)**

血小板凝集



※EDPは、血算用採血管で使用されるEDTA塩の存在下で血小板凝集が惹起される現象です。健常人でも認められ、出現頻度は約0.1%と報告されています。なお、パリン採血管は血小板凝集を惹起するため、お勧めできません。

文責：能藤万里子

ご不明点などありましたら、お気軽に検査部までお問合せください（内線7381）